

JAITI 55

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
 事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
 TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

一時緊張が高まった日本周辺の国際関係も、平和解決に向けて模索が続いています。お互いの利害が見え隠れはしているものの、武力による收拾だけは避けて欲しいものです。

ジャイチの活動も、国は違っても同じ地球人として文化の違いや環境の壁を理解しながら、お互い様の気持ちと友好平和を願いつつ、おらかなネパールの人々と大勢の支援者と共に歩んで30年近い歳月に及んでいます。その間、ネパール国内においては民主化運動による内戦、王政廃止などと状況も大きく変化しています。加えて、大地震の襲来。自然が生み出す脅威と人間が作り出す脅威を見た時、自然に逆らうことは困難が多くても、人による脅威への歯止めは、そう難しいことではないのでは。

今号では、「継続は力なり」として、25周年を迎えたレカリ・バシファント学校を特集させていただきました。



▲バシファント校の校庭に設置された25周年モニュメント

◆学校の様子

レカリ・バシファント学校では、昨年から準備を進めてきた開設25周年の記念式典が3月12日から14日の3日間にかけて盛大に執り行われました。

開校および学校運営に尽力されている大勢の関係者を迎え、様々なプログラムが組まれた式典では、これまでの地域の教育の成果を振り返り、そして、これからの学校の方向を確認する上でも、大変大きな意義を持つ行事となりました。

◇生徒数の減少に直面しているカカニ・ブライター学校では、新年度の入学のシーズンにあたって、幼稚クラスに重点をあてて児童の獲得に力を入れていきます。

その結果、幼児の新入が大幅に増え、昨年度200人程にまで落ち込んだ生徒数も学校全体で280人ほどの入学が見込まれるようになりました。

しかし、幼稚クラスに向けた指導体制が十分に準備できていないことから、先駆的に幼児教育を行っている幼稚園の協力を得て、教員の研修の機会を持つことなど、新たな取り組みも充実していくことにしています。



▲盛大に行われたレカリ・バシファント学校25周年記念式典

◆理事会・評議員会を開催

29年度の事業終了に伴う理事会を6月3日に、評議員会を6月20日に開催しました。

また、任期満了に伴う理事・監事・評議員について次の皆さんが選任されました。

《理事》

小林 淳	長野県長和町
羽田健一郎	長野県長和町
堀 邦昌	長野県上田市
立岩 寿一	長野県長和町
島田 基正	長野県上田市
小林 弘	神奈川県大和市
丸山 敏和	長野県長和町
羽田 俊祐	長野県長和町
宮下 篤	長野県上田市
《評議員》	
井出 正三	長野県長和町
井出 守雄	長野県上田市
小林 裕	神奈川県横浜市
直井 保彦	長野県上田市
黒沢 勇人	長野県長和町
森田 繁良	長野県長和町
武重 邦昭	長野県長和町

なお、評議員会後の理事会において、理事長に小林淳理事が就任しました。

平成29年度 事業決算報告

科目	(単位:円)
I 事業活動収支の部	
1.事業活動収入	
基本財産運用益	1,789,275
特定資産運用益	180,948
受取寄附金	2,594,355
雑収益	45
2.事業活動支出	
開発途上国への農業技術の向上と普及・農業・学校団体への助成・支援及び農業・教育の啓発事業	4,042,258
3.管理費支出	866,119
事業活動収支差額	△343,754
II 投資活動収支の部	
1.投資活動収入	
投資活動収入	0
2.投資活動支出	
投資活動支出	0
投資活動収支差額	0
当期収支差額	△343,754
前期繰越収支差額	4,114,009
次期繰越収支差額	3,770,255

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

2017年12月21日〜2018年6月20日迄 順不同 敬称略

◆ 人的協力

〈東京都〉 滝和美、 田山豊

〈長野県〉 白井千鶴子、 柿島明子、 菊池健介・道子、 株式会社北澤土建、 有限会社佐藤新聞店、 田村由紀子、 根岸厚次・真貴子、 松久よし子

〈愛知県〉 村田あやみ

〈海外〉 ネパール ホテル サンセットビュール・アル ジュン・シン／絃子・トラチャン

◆ 寄附金

〈北海道〉 内藤喜美子、 服

部昌男、 水口馨

〈茨城県〉 魚津慶子、 折本拓郎

〈栃木県〉 森聖哉

〈群馬県〉 斉藤孝夫、 橘眞智子、 割田甚一

〈埼玉県〉 齊藤節子

〈千葉県〉 青木洋、 小池猛、 木村公亮、 高橋節子、 中根正義、 向井夏詩、 横館久宣、

〈東京都〉 朝倉政雄、 石田昭夫、 今井正史、 岡田信一、 小川金三郎、 株式会社ウエック・トレック稲村道子、 棧康子、 鎌倉恵子、 鎌田はなよ、 河野節子、 木村慈子、 木村裕子、 黒田秀基、 須田清法律事務所須田清、 滝和

美・三希子、 株式会社トッ

プ東京営業所、 西岡巖、 西

重正博、 二瓶幸子、 野村明

賢、 正田英子、 松田重篤、 山縣敏子

〈神奈川県〉 小林みよ子、 十河三郎、 羽佐間素子、 堀内弘栄、 丸山進治・佳子、 安延義弘

〈長野県〉 井出正義、 井出守雄、 内山富之、 小笠沢浩一、 金子元昭、 菊池健介、 北澤純一、 北原千歳、 黒岩あゆみ、 黒沢勇人、 小池文男、 高本洋子、 小林淳、 小林展子、 五味あつ美、 齊藤敏、 坂井永一、 澤山啓司、 下伊那農業高校園芸クリエイト科果樹部、 有限会社大和印刷、 武内美栄子、 武田順治、 田村由紀子、 長野県連合青果株式会社、 株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、 中村彰、 西山ミチコ、 牧幸男、 増田シゲミ、 松久よし子、 松林進、 丸山幸雄、 矢島久子、 山越好彦、 横関絢子、 国際交流フェスティバル in MARUKO、 ジャイチ事務所寄附金箱

〈新潟県〉 帯瀬憲五、 小森修

〈岐阜県〉 庄村敏

〈静岡県〉 伊熊武夫

〈愛知県〉 伊藤正裕、 後藤多恵子、 本田忠彦、 村瀬政子

〈滋賀県〉 岡田千尋、 シャー

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。

皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れいたします。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

①所得控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。

②税額控除 その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。

(例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。

(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

郵便振替・銀行振込での募金

■お振込先 ◎郵便振替 00510-4-65434

◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577

□座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

レ水ヶ浜ふくろう基金玉田盛二、松延宏昭

〈大阪府〉 三尾和子

〈兵庫県〉 新海泉、玉岡昇治

〈三重県〉 橋本洋一、日紫喜清文

〈和歌山県〉 中前孝啓

〈ネパールへ直接〉 若山洋一・七美

◆ 寄付品

〈宮城県〉 林教子

〈群馬県〉 南部宏子、松原啓子

〈東京都〉 小曾小百合、滝

和美、ネパールの子ども達に文具を届ける会小山恵美子、野村建設工業株式会社営業課、松島長久、山縣敏子

〈神奈川県〉 堀内フサ子

〈長野県〉 井出守雄、白井千鶴子、有限会社美ヶ原燃料、柿島明子、加藤美幸、菊池健介・道子、清澤宏彰、清住栄子、小林展子、佐々木美保、返町幸見、有限会社大和印刷、滝沢英子、武石郵便局、田村由紀子、富田万里子・昌利、豊田祐一、長門小学校PTA子育て委

員会、長門郵便局、羽田紀与子、舟木公栄、松原邦彦、松本筑摩東郵便局、松久よし子、矢嶋榮子、依田窪南

部中学校ボランティア委員会

〈愛知県〉 伊藤正裕、後藤多恵子・康洋、矢野昭敏

〈三重県〉 日紫喜清文

〈兵庫県〉 近松研究所乾安代、丸尾信

〈広島県〉 土佐朱実慧

〈大分県〉 河野サヨ子

〈ネパールへ直接〉 田山豊賢



「ぼくも眠いよ」 絵 マン

レカリ・バシファント学校25周年特集

25周年を迎えて

ラル・ラル・マンダル
(バシファント学校長)

開発途上国ネパールの農村部に居住するタマン族の子どもたちに教育を提供するために、故小林榮様、菊池健介様はじめジャイチの皆さんたちの惜しみない努力により学校が誕生しました。

1993年に1年生を受入れた当初から全ての経費はジャイチの提供によるものでしたが、現地の組合とジャイチの同意に従い、2004年の1年生から毎年クラス1つずつ現地の組合に引き渡し、2012年に学校運営のすべての経費の責任は組合に移りました。

しかし、10年間以上無料で運営してきた学校を引き渡された現地の人たちには経済的な負担がかかり、学校を存続するのか閉校するのか厳しい局面に立たされました。

この状態を改善するため、ジャイチネパールのチーフアドバイザーである

ビムラル・グルンさんが主導的役割を果たしました。高等教育機関の事務官でもあったグルン氏のビジョンと文部省の関係者への忍耐強い働きかけにより、ネパール政府庁評議会の決定で、バシファント学校の施設と土地約160アールを含めて近辺のレカリ小学校と合併させた後、完全に現地の組合所有のレカリ・バシファント中学校として姿を変えました。

当時、この学校の評価額は2千万ルピー以上といわれる大金の資産を現地の組合に提供し学校を作った事例は全国に一つだけです。

こうして、文部省がこの学校の教師6人を派遣するようになりました。学校を

完全に組合の所有権になったからこのようなサポートを政府からもらえるようになったのです。

ただし、2012年まで教師たちの手当金額の一部のサポートはジャイチからいただいていた。いまだに学校のあらゆる開発のため、ジャイチのサポートは続いており、学校の物理的な開発、そして、教育の質を高めるため、ジャイチ日本とジャイチネパールの代表たちの学校訪問が続いています。同時に、時代に応じた効果的な研修プログラムも行っています。

2015年4月25日、ネパール大地震がこの学校を襲いました。幸い大きな被害が無くて済みましたが、人々に与えた精神的なダメージは大きいものでした。この震災で、当時3年生の生徒が一人、崩壊した自宅の下敷きになり尊い命を失いました。

学校施設の修理は、いろいろな組織や組合のご協力で短期間で終わりました。ジャイチが3年生の教室を建て替えてくれました。学校の3Sチームをはじめ、



S M C (学校運営組合)、P T A と関係者各位の積極的な活動も見事でした。今でもこのチームは学校の重要な役割を果たしています。

しかし、だんだん時間が経っていくと、私たちは地震のことを忘れていきます。地震とそれからの余震の影響で、その年の授業は良くありませんでした。教師の不足で教育の質もかなり低下しました。その結果、当時の S L C 試験の結果も悪い状況でした。でも、翌年から S L C 試験の結果がよくなってきており、学校の施設も2017年までに、英語のラボ（研究室）、C C T V、W i F i、教室の新築、修理など整備されました。

25周年を迎えて、学校は新たな取り組みを公表しました。

- ① 育英基金を作る
- ② 11・12年生を受け入れる
- ③ 技術系の授業を始める
- ④ 寄宿舎を充実する
- ⑤ 教師1人に1台ノートパソコン、各教室に視聴覚設備を整備する
- ⑥ 教育研究センターを設立する
- ⑦ 太陽光発電施設を設置する
- ⑧ 生徒に優しい教育
- ⑨ 必要に応じて教師たちの研修・訓練を行う
- ⑩ 安定した経営のため、モデルプログラムを実施する

この学校の目標は、子どもたちが社会の一員として活動できるための知識や技術を提供し、成長させることです。現地の関係者の活発な参加および協力で施設が最大に利用され、学校が適切な管理を行うことで子どもたちが安心して学校へ通うことができ、彼らの学びの質を高めることが目標です。

25周年記念式にあたり、すべての応援者たちに心から感謝しています。



親愛なる バシファント

ペ・マルンバ(女)

規律正しいバシファント授業はもつと好き
みんな仲良く学び遊ぶみんな同じ言葉で話す
私たちに知識と知恵と規律を与えてくれる尊敬する先生たちへ神があなたたちを守る
バシファント学校はいつも私たちの心の中にある
私たちはここに通いたくさんの技術と知恵を得て偉い人になる
たくさんの仲間たちがここで学び世界で活躍する

私の親愛なるバシファント
綺麗な環境で咲くシャクナゲは綺麗
私の大好きなバシファント学校
(バシファント学校7年生)



今年のジャイチツアー 第22回 JAITIツアー 参加者募集

雄大なヒマラヤ

ネパールでは雨季が明けた10月からが絶好の観光シーズンに入ります。

世界最高峰のエベレストを擁するヒマラヤの眺望をはじめ伝統的大祭であるティハールにも巡りあえる旅を計画しました。

今年も、ジャイチの学校では子どもたちが皆さんの訪問を心待ちにしています。

◆実施日

平成30年10月31日(水)～11月8日(水) 7泊9日

◆旅程

- 【二日目】羽田・中部→香港→カトマンズ
- 【三日目】レカリバシファント学校訪問
- 【四日目】学校→カトマンズ市内観光
- 【五日目】カトマンズ→ポカラ
- 【六日目】ポカラ→カトマンズ
- 【七日目】マウンテンフライト(エベレスト眺望)、カカニプライター学校訪問
- 【八日目】カトマンズ市内観光、カトマンズ→香港
- 【九日目】香港→羽田・中部

◆旅行代金

お一人様 29万円
全行程中の交通費(航空機はエコノミークラス)、宿泊、食料代を含みます。

但し、日本国内の交通費と海外旅行保険は別途になります。

◆申し込み期限

8月31日(金)

◆問い合わせ・申し込み方法

電話、ファックスにて左記にお問い合わせください。募集要項、申込書をお送りいたします。

企画 ジャイチ事務局

長野県上田市武石沖六〇五五

TEL〇二六八八五三三三六六五

FAX〇二六八八五三三三六六三

主権 (株)西遊旅行

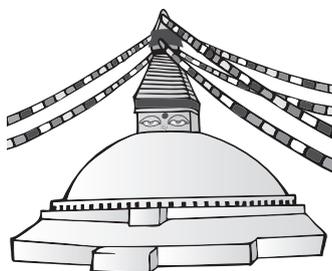
事務局だより

▼ジャイチ

- 1月 ・機関紙54号の編集と発行
- 2月 ・30年度事業計画・予算案作成
・国際交流フェス実行委
- 3月 ・レカリ・バシファント学校25周年記念式典参加(理事長・事務局長)
・理事会(30年度事業計画・予算)
・内閣府へ事業計画書等提出
- 4月 ・決算準備
・法人税減免申請
- 5月 ・29年度決算監査
・国際交流フェス丸子参加
- 6月 ・理事会(29年度事業報告・決算)
・定時評議員会
・内閣府へ事業報告書等提出
・機関紙55号企画

▼ジャイチネパール

- 1月 ・冬休み、3学期試験
・ブライター学校へオーストラリア英語教師3ヶ月派遣
・JICAがレカリ校訪問
- 2月 ・ブライター学校ナガルコットへハイキング
- 3月 ・レカリ・バシファント学校25周年記念式典
・学年末試験
・SEE試験、レカリ・バシファント学校30人
ブライター学校11人受験
- 4月 ・新学期ブライター学校278人、
レカリ・バシファント学校403人
- 5月 ・欧米ボランティア30人がレカリ校の家具・トイレ修理
・スタッフが日本人設立のバネバひかり幼稚園見学



東京都千代田区神田神保町二二二
共同ビル神保町三階
観光庁長官登録旅行業第六
〇七号日本旅行業正会員
TEL〇三三三三三七七八八四
FAX〇三三三三三七七〇六三八

集めています

収集品		使 途
文房具	定規・鉛筆など	学校生徒用
毛糸	帽子を編みます	レカリ・バシファント学校1・2年生用
	編みぐるみ・タワシなどのバザー用品をつくります	
日本手拭・タオル	未使用のもの	ネパールの学校用ほか
使用済切手	換金します(未使用切手も歓迎)	ネパールの学校の運営費(切手の周りを5ミリ残してください)

(使用済切手につきまちは、寄付品協力欄にお名前を掲載しまして、謝意を表します。)

書き損じハガキを送って下さい。

未使用・年賀はがきの
書き損じ・未投函歓迎

(切手に交換して通信費に役立たせていただきます)
前回28,515円分の切手と交換できました。

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。

- 長井久雄様 長野県上田市 十八年一月
- 熊谷仁之様 埼玉県本庄市 十八年一月
- 小島征夫様 群馬県伊勢崎市 十八年一月

お願い

ネパールへのジャイチの荷物(主に学校で使用される布カバン・文房具等)の運搬をお手伝いしていただける方、是非ご連絡ください。



バザーのお知らせ

9月2日(日)
野沢会館
(佐久市)

編集後記

私の年代では、55号と言うとやはりこの言葉でしょう。「なんでそうなるの？」お茶の間で一世を風靡したコント55号の欽ちゃんの名フレーズです。
最近、笑いがおおいに健康にも良いと言われ、笑いヨガなる講座もあちらこちらに登場しています。
「なんでそうなるの？」が日常的な昨今、笑って誤魔化す愛嬌で、暑い夏を乗り切りたいと思います。